

医療法人豊田会
刈谷豊田総合病院
歯科医師臨床研修プログラム

平成30年4月
第7版

1. プログラムの名称

刈谷豊田総合病院歯科医師臨床研修プログラム

2. プログラムの目標と特色

1) 特色

- (1) 歯科医療全般にわたる基本的臨床能力を習得する。
- (2) 口腔疾患患者の全身管理および救急医療の知識を得る。
- (3) 特殊な症例に対する対応方法や口腔外科などの専門的診療能力の取得のための準備や学習方法を会得する。

2) 目標

歯科医療における基本的臨床能力を身につけるとともに、患者の人格を尊重した医療を実践するために、医療従事者としてふさわしい倫理観と責任感を養うことを目標とする。

- (1) 歯科医師として適切な態度・習慣を身に付け、患者および家族とのよりよい人間関係を形成する。
- (2) 広範囲の視点から得た医療情報を分析・理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
- (3) 歯科臨床医に求められる基本的臨床能力を身につける。
- (4) 口腔領域に関する救急医療における判断力を身につける。
- (5) 隣接医学についての知識を習得し、他科と連携できるようにする。
- (6) チーム医療を理解し、常に他の医療メンバーと協調する姿勢を身につける。
- (7) 処置後の経過を観察し、診断と治療に常にフィードバックする習慣を身に付ける。
- (8) 専門的知識や高度先進的歯科医療に関心をもち、研修終了後も診療能力の向上に努める態度と意欲を養う。
- (9) 歯科医師としての社会的責務を認識し行動する。

具体的には歯科医師臨床研修の到達目標を達成するためのカリキュラムを参照のこと

3. プログラム責任者

刈谷豊田総合病院 歯科・歯科口腔外科部長 渡邊和代

4. 臨床研修を行う分野および研修施設とその期間

研修分野: 本プログラムに示した到達すべき目標項目全て

研修施設: 基本的に刈谷豊田総合病院歯科・歯科口腔外科にて研修を行う。ただし、本院の関連施設である長期療養型病床群の刈谷豊田総合病院東分院と介護老人保健施設のハビリスーツ木においても歯科医師としての臨床研修を行うことがある。(各施設共に月1回以上)

研修期間: 1年間

5. 指導体制

臨床研修指導医が指導の任にあたる。指導歯科医は下記のとおりであるが、状況に応じて他の常勤医の指導を仰ぐものとする。

歯科・歯科口腔外科部長: 渡邊和代(1994年 北海道大学歯学部卒)

6. プログラムの管理運営体制

刈谷豊田総合病院における臨床研修の管理運営のために臨床研修管理委員会が設置され

ている。歯科医師臨床研修についても臨床研修委員会にて管理の上、プログラム責任者(歯科・歯科口腔外科部長)がその直接の運営にあたる。

7. 募集定員および募集、採用方法

定員1名、採用前年度の8月末までに指定用紙にて応募、その後面接等の試験を行う。詳細は年度毎に歯科大学、歯学部へ送付した案内を参照。

8. 研修歯科医の処遇

- 1) 医療法人豊田会刈谷豊田総合病院の正規の職員(常勤)として採用する。
- 2) 勤務時間:原則として診療日の8時30分から16時50分。ただし、研修の必要性を鑑み適宜延長する。
- 3) 当直勤務:原則として行わない。
- 4) 給与:当院規定による基本給および諸手当を支給する。
- 5) 宿泊施設:臨床研修医宿舎有り。
- 6) 各種保険:健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
- 7) 健康管理:年2回(春・秋)定期健診を実施
- 8) 賠償責任保険:病院として医師損害賠償保険に加入しているため、研修医個人がこの種の保険に加入する必要はない。
- 9) 学会・研修への参加:参加可、参加費用については当院規定により支給。

9. プログラム終了の認定

研修歯科医は到達目標に対する自己評価を行い、指導歯科医の評価と合わせて指導者会議にて協議し、認定を行う。認定後、終了証書を授与する。

刈谷豊田総合病院 歯科医師卒後臨床研修カリキュラム

1.はじめに

歯科医師は生涯研鑽を積んでいかなければならない職業である。将来、より高度の専門性を身につけた臨床歯科医師であっても多様な患者のニーズに対処するために、卒直後から、あらゆる歯科疾患のプライマリーケアに対処できるようにすることが必要である。このカリキュラムでは、卒後1年間をこの初期研修の場と位置づけ、歯科医師臨床研修(単独研修方式)を編成している。診断までの思考過程の育成と基本的歯科処置の習熟に主眼を置くとともに、将来専門的な歯科医療への橋渡しとなるよう研修を行うよう構成されている。同時に患者の全人的医療を理解し、常に真摯な態度で臨床に従事する姿勢を養成することを目的としている。

2.刈谷豊田総合病院における歯科医師臨床研修の目的

- 1) 歯科医師として適切な態度をとり、患者および家族と適切な人間関係を確立する。
- 2) 全人的な視点から得た医療情報を理解し、それに基づき総合治療計画を立案する。
- 3) 歯科疾患の予防および治療における基本的技能を身に付ける。
- 4) 応急処置や高頻度の歯科治療処置を的確に実施する。
- 5) 診療時の偶発事故に適切に対応する。
- 6) 処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする姿勢を身に付ける。
- 7) 専門的知識や高度先進的医療にも関心をもち、生涯研修の意欲を継続するように動機付ける。
- 8) 歯科医師の社会的役割を認識し、歯科医師法等関係法規を遵守する。

3.到達目標

このカリキュラムではおよそ前期(4月から10月)を基本コース(基本習熟コース)、後期(11月から翌年3月)を応用コース(基本修得コース)とした。その内容は刈谷豊田総合病院の特徴を踏まえながらも、厚生労働省から示された「歯科医師臨床研修の到達目標」を達成するよう配慮したものである。

4. 歯科医師臨床研修コース内容

1) 基本コース(基本習熟コース)

<前期到達目標(一般目標)>

患者との接し方や診断に至る過程を理解し、患者の問診、診査が適切に行えるようにする。また、指導歯科医の直接指導により歯科治療の基本的手技、処置を習得する。そして、歯科医学知識をさらに確実に理解し、臨床に応用できるようにする。

(1) 医療面接

(一般目標)

診断に必要な情報を迅速かつ正確に聴取し、患者から信頼される態度を身につけ実践する。

(行動目標)

- ① コミュニケーションスキルを実践し、礼儀正しく、いたわりの心で患者と接する。
- ② 問診により訴え病歴(主訴、現病歴、既往歴および家族歴)を正確に把握できる。
- ③ 病歴を正確に診療録に記載をする。
- ④ 患者の心理・社会的背景に配慮する。
- ⑤ 個人情報保護を心得、プライバシーを守る。
- ⑥ 患者・家族に必要な情報を適切に提供する。
- ⑦ 患者の自己決定を尊重する(インフォームドコンセントの構築)
- ⑧ 患者の心身における QOL に配慮する。
- ⑨ 患者教育と治療への動機付けを行う。

(2) 診査

(一般目標)

口腔および周囲組織の基本的診査を的確に行う能力を身につける。

(行動目標)

- ① 全身および顎顔面、口腔領域の異常を把握し診療録に正確に記載する。
- ② 血圧、脈拍数測定を円滑に行う。
- ③ 齶蝕の診査をする。
- ④ 歯周疾患の診査をする。
- ⑤ 咬合関係の診査をする。

(3) 総合診療計画

(一般目標)

効率のよい適正な歯科診療を実施するために、総合治療計画を立てる能力を修得する。

(行動目標)

- ① 適切で十分な医療情報を収集する。
- ② 基本的な診察・検査を実践する。
- ③ 基本的な診察・検査の所見を判断する。
- ④ 得られた情報から診断を導く。
- ⑤ 適切と考えられる治療法および他の選択肢を提示する。
- ⑥ 十分な説明による患者の自己決定を確認する。
- ⑦ 一口腔単位の治療計画を策定する。
- ⑧ 全身状態および社会的背景を考慮した治療計画を作成する。

(4) 画像診断

(一般目標)

X線写真、CT、MRI、核医学検査などの撮影方法を理解し基本的な画像診断を習得する。

(行動目標)

- ① 口内法による歯科用 X 線写真を撮影し、読影する。
- ② パノラマ X 線写真の撮影を指示し、読影する。
- ③ 顔面 X 線写真撮影を指示し、異常を指摘する。
- ④ 頭頸部の CT 撮影の指示をし、主要変化を指摘する。

(5) 基本的臨床検査法

(一般目標)

歯科診療に必要な臨床検査法の選択し結果を理解する。

(行動目標)

- ① 尿の一般検査を指示し、結果を判断する。
- ② 血液一般検査を指示し、結果を解釈する。
- ③ 血液凝固系検査を指示し、結果を解釈する。
- ④ 血液生化学検査を指示し、結果を解釈する。
- ⑤ 細菌検査および薬剤感受性試験の結果を判断する。
- ⑥ 病理組織検査を理解し、結果を判断する。

(6) 予防・治療基本技術

(一般目標)

歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために、必要な基本的技術を身に付ける。

(行動目標)

- ① 基本的な予防法を計画し、手技を実施する。
- ② 基本的な治療法の手技を作成する。
- ③ 医療記録を適切に作成する。
- ④ 医療記録を適切に管理する。

(7) 応急処置

(一般目標)

一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して必要な臨床能力を身に付ける。

(行動目標)

- ① 疼痛に対する基本的な診療を実践する。
- ② 歯、口腔および顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- ③ 修復物、補綴装置の脱離と破損および不適合に対する適切な処置を実践する。

(8) 高頻度治療

(一般目標)

一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

(行動目標)

- ① 齧蝕の基本的な治療を実践する。1)レジン修復 2)インレー修復
- ② 歯髄処置の適応を判断し、歯髄疾患の基本的な治療を実施する。1)抜髄処置 2)感染根管処置
- ③ 歯周疾患の基本的な治療を実践する。1)歯周指導 2)スケーリング・ルートプレーニング 3)歯周外科治療の補助
- ④ 抜歯の基本的な処置を実践する。1)単純抜歯 2)難抜歯 3)埋伏歯抜歯
- ⑤ 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。1)歯冠補綴治療 2)部分床義歯治療 3)全部床義歯治療

(9)医療管理・地域医療

(一般目標)

歯科医師の社会的役割を果たすために必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身に付ける。

(行動目標)

- ① 保険診療を実践する。
- ② チーム医療を実践する。
- ③ 地域医療に参画し、訪問診療を経験する。

(10)薬物療法

(一般目標)

一般的な薬剤についての知識と適切な処方を習得する。

(行動目標)

- ① 歯科、歯科口腔外科で用いる内服薬剤の適応、用法、禁忌などについて正確な知識を習得する。
- ② 薬物療法の効果を評価する。
- ③ 全身疾患に用いられる主な薬物について知識を持ち合わせる。

(11)周術期の管理

(一般目標)

外来手術前後の基本的管理能力を習得する。

(行動目標)

- ① 適切かつ平易に患者に手術の説明をする。
- ② 外来手術に先立ち、適切な問診や検査の指示ができ、全身状態が評価する。
- ③ 術後合併症、術後の異常経過に対し速やかに察知し対応する。

(12)消毒、滅菌および院内感染防止

(一般目標)

各種の消毒、滅菌についての知識を持ち、院内感染防止に配慮できる。

(行動目標)

- ① 診療に必要な各種の消毒、滅菌についての知識を持つ。
- ② 滅菌手袋や手術着の着用が正しく行う。
- ③ 手指の消毒が的確に行う。
- ④ 手術野の消毒が的確に行う。

⑤HBV、HCV、HIV および MRSA に関する知識を持ち、交叉感染防止を実施する。

2) 応用コース(基本修得コース)

<後期到達目標>

歯科医師としての自立を目指すとともに、将来に備えた、より高度の診療に習熟し広範囲の歯科医学知識の吸収に積極的な姿勢を養う。

このために病院が主催する医療管理関連セミナーへの参加を行い、また、指導医により提示された課題に対するレポートを年間6例以上提出する。

(1) 救急処置

(一般目標)

歯科診療を安全に行うために、必要な救急処置に関する知識、態度および技能を習得する。

(行動目標)

- ① バイタルサインを観察し、異常を評価する。
- ② 服用薬剤の歯科診療に関する副作用を説明する。
- ③ 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。
- ④ 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。
- ⑤ 一次救命処置を実践する。
- ⑥ AED の使用方法を修得し、二次救命処置の対処法を説明する。

(2) 医療安全・感染予

(一般目標)

円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度および技能を習得する。

(行動目標)

- ① 医療安全対策を説明する。
- ② アクシデントおよびインシデントを説明する。
 アクシデントを含めインシデントレポートを年間 10 枚以上提出する。
- ③ 院内で開催される ICT/SMT 講習会に各 2 回は必ず出席する(各 1 回は e-Learning 受講 + レポート提出でも可)。
- ④ 医療過誤について説明する。
- ⑤ 院内感染対策(Standard Precautions を含む。)を説明する。
- ⑥ 院内感染対策を実践する。

(3) 経過評価管理

(一般目標)

自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断および治療に対するフィードバックに必要な知識、態度および技能を習得する。

(行動目標)

- ① リコールシステムの重要性を説明する。
- ② 治療の結果を評価する。
- ③ 予後を推測する。

(4) 予防・治療技術

(一般目標)

生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する。

(行動目標)

- ① 専門的な分野の情報を収集する。
- ② 専門的な分野を体験する。
- ③ POS (Problem Oriented System) に基づいた医療を説明する。
- ④ EBM (Evidence Based Medicine) に基づいた医療を説明する。

(5) 医療管理

(一般目標)

適切な歯科診療を行うために、必要とされるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。

(行動目標)

- ① 歯科医療機関の経営管理を説明する。
- ② 常に、必要に応じた医療情報の収集を行う。
- ③ 適切な放射線管理を実践する。
- ④ 医療廃棄物を適切に処理する。

(6) 地域医療

(一般目標)

歯科治療を適切に行うために、地域医療についての知識、態度および技能を習得する。

(行動目標)

- ① 地域歯科保健活動を説明する。
- ② 歯科訪問診療を説明する。
- ③ 歯科訪問診療を体験する。
- ④ 医療連携を説明する。

(7) 入院治療

(一般目標)

入院患者の診療に際し、担当医に協力し入院治療の基礎を学ぶ。

(行動目標)

- ① 顎骨骨折患者の歯牙結紮、顎間固定の介助ができる。
- ② 手術術式を理解し、患者および家族等に平易に説明できる。
- ③ 手術術式を理解し、適切な手術介助ができる。
- ④ 術後管理を理解し、状態変化を察知できる。
- ⑤ 看護師と協力して入院患者に対応できる。
- ⑥ 入院診療録を的確に記載することができる。